

報道機関 各位

災害ボランティアセンター設置・運営訓練を開催します
～市の災害対応から災害ボランティアセンターの機能を理解する～

北九州市では大規模災害時に、北九州市社会福祉協議会が災害ボランティアセンター（以下、「災害VC」という。）を設置することとしています。

この度、被災時にボランティアを受け入れ、被災者ニーズに沿った円滑な支援活動につなげるための災害VC設置・運営訓練を下記のとおり実施しますので、ぜひ取材方よろしくお願ひいたします。

■日 時 令和8年6月7日（日） 10:00～15:30

■場 所 多目的ホール（戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた2階）

■講 師 北九州市危機管理室危機管理課 防災専門官 中島典章氏
一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤健児氏

■内 容 (1) 災害時、行政はどう動く？
災害ボランティアと支え合うための基本
(2) 災害現場で求められる支援とは
～安全確保と関わり方の基本～
(3) <演習>被災者宅の現地調査から支援につなげるまで

■参加団体 連合福岡・北九州地域協議会、エフコープ生活協同組合、ライオンズクラブ337-A地区、北九州市保育所連盟、北九州市児童養護施設協議会、北九州市母子生活支援施設、登録災害ボランティア等
(予定)

■過去の訓練の様子



<お問合せ先>

【本件全般について】

北九州市社会福祉協議会 活動推進課 長野、南里（TEL：093-881-0110）

【市と社会福祉協議会との連携について】

保健福祉局 地域福祉推進課 田津（課長）、高野（係長）（TEL：093-582-2060）

令和8年度 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 ～市の災害時対応から災害ボランティアセンターの機能を理解する～ 開催要項

近年、全国各地で自然災害が頻発・激甚化しており、各地で災害ボランティアセンターが設置される状況が続いています。

本市においても災害発生時には災害ボランティアセンターが設置され、多くのボランティアが被災地支援に関わることが想定されます。その際には、被災地域の関係者が主体となり、地域協働型でセンターを運営することが重要となっています。

本訓練では、午前の講義において、行政の災害対応の流れや災害ボランティアセンターの役割、災害現場における支援の基本や安全確保のポイントについて学びます。午後の演習では、被災者宅での対応場面をイメージしながら、被災された方の困りごとに気づき、どのように受け止め、必要な支援につないでいくかについて、グループワークやロールプレイを通して考えます。

ボランティア活動は、すべてを一人で抱えるものではなく、できることを担いながら、専門職や関係機関へつないでいくことも大切な役割です。本訓練では、「どこまで関わるか」「どのようにつなぐか」といった視点も大切にしながら、参加者同士で学び合う機会とします。

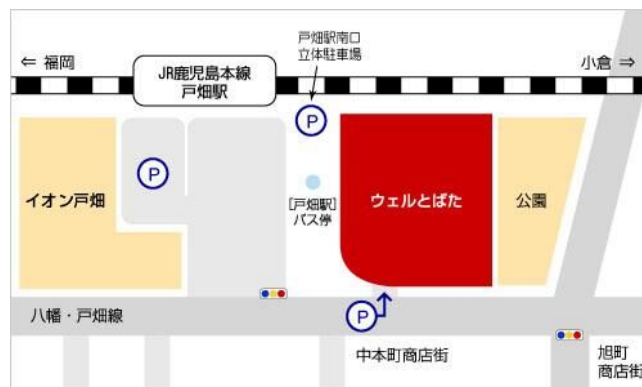
記

- 1 日 時 令和8年6月7日(日)10時00分～15時30分
(9時30分～受付)
- 2 会 場 ウェルとばた多目的ホール (戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた2階)
- 3 実施主体 北九州市社会福祉協議会
- 4 参加対象 社協職員、登録災害ボランティア、災害時相互協力協定締結団体、各種別社会福祉施設協議会、地域福祉活動者、等
- 5 受講料 無料
- 6 参加申込 令和8年5月25日(月)〆切
FAX・E-mail・Google フォームにて受付
北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課
(ボランティア・市民活動センター)
TEL: 093-881-0110 FAX: 093-881-9680
Email: kitaq-vc02@kitaq-shakyo.or.jp
Google フォーム: <https://forms.gle/JBiDum9GaN8aEmmq9>



申込コード

7 会場図



J R 戸畑駅
下車徒歩1分

8 研修内容

時 間	内 容	講 師・担 当
9 : 30	受付開始	
10 : 00 ～ 10 : 05	オリエンテーション 開会挨拶	北九州市社会福祉協議会
10:05 ～ 11:00	<講義>55分 「災害時、行政はどう動く？ 災害ボランティアと支え合うための基本」	北九州市危機管理室 危機管理課 防災専門官 中島 典章 氏
11:00 ～11:05	休憩	
11:05 ～ 12:00	<講義>55分 「災害現場で求められる支援とは ～安全確保と関わり方の基本～」	(一社)九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児 氏
12:00 ～13:00	昼休み	
13:00 ～ 15:25	<p>演習：全体テーマ「被災者宅の現地調査から支援につなげるまで」</p> <p>■ 演習①（導入） 「現地調査とは何をするのか？」（ミニ講義＋確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地調査の目的（ニーズ把握・安全確認・信頼関係づくり） 把握すべきポイント <p>■ 演習②（グループワーク） 「ケースからニーズを読み取る」</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災者宅の設定資料（写真・状況文）を配布してグループワーク <ol style="list-style-type: none"> どんな困りごとがあるか 緊急性はあるか ボランティアで対応できるか 専門機関につなぐ必要があるか <p>■ 演習③（ロールプレイ） 「現地調査の対応をやってみる」</p> <ul style="list-style-type: none"> 役割：調査員／被災者／記録係 初回訪問の流れを体験／挨拶、状況確認、ニーズ把握、支援提案 <p>■ 演習④（まとめ） 「支援につなぐ判断」</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアでできること／できないこと センターへの報告内容 注意すべきポイント（安全・個人情報・無理をしない） 	
15 : 25 ～ 15 : 30	閉講	北九州市社会福祉協議会